

神石小学校は昭和 40 年 8 月、福永・古川・高光の 3 小学校が統合して開校して以来、今年度で 51 年目を迎えました。校区は四季折々の自然美に満ち溢れた帝釈峡国定公園、緑豊かなスコラ高原、紅葉の美しさを誇る神龍湖など、自然体験学習をするのに恵まれた環境にあります。また、校庭には、八尾城公園が隣接し、生活科や総合的な学習で、利用する他、マラソンコースや冬の雪遊び場としても使われ、素晴らしい学習の場となっています。



平成 28 年度が始まりました。4 月 7 日の入学式で新たに 1 年生 9 名を迎え、児童数 57 名、教職員数 14 名で新たなスタートを切りました。

今年度の学校教育目標は「自ら伸びる子・共に生きる子の育成」と設定し、アイデンティティ（主体性）を発揮するとともに自律して目標に向かって挑戦する児童の育成を図ります。また、子供同士・教師・保護者・地域など児童を取り巻く環境を生かし、子供と他者のかかわりを意図的・計画的に設定し、協同して学ぶ児童の育成を図ります。

授業においては子どもたちが自分の考えを確かに持つ自力解決場面を保障しつつ、それを自ら表現し、集団で学び合い、深めていこうとする集団解決場面を確立するとともに、刻々と動く子どもの表情や目の輝きを見取り、「学び合い」を組織し、授業を展開していく問題解決的な学習の確立を通して、さらに授業の改善を図ろうと考えています。

また、広島版「学びの変革」アクションプランの趣旨を踏まえ、課題解決型の学習の筋道を大切に、本時の学習内容から課題を設定し、児童が自ら結論の予想を立てたり、解決の糸口を探ったりするとともに、実験観察あるいは立式、資料分析、既習事項、文章読解等を通して、小集団もしくは全体で検証・立証していく方向で授業及び教育研究を進めてまいりたいと考えています。

これまで地域の皆様に愛され、大切にされてきた学校と子供達。連綿と受け継がれてきた誇りと伝統。それらに思いを馳せ、全校児童 57 名が自己実現を果たすとともに、かかわり合いながら共に生きることができるよう、教職員 14 名一丸となって教育活動を推進してまいります。

保護者、地域の皆様、どうか更なるご支援を
どうぞよろしくお願い申し上げます。



平成 28 年 4 月 神石小学校長
藤井 和彦